

教育学部身体文化専修体育・保健体育分野カリキュラムマップ

養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基底としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成				
学位授与の方針	<p>①専門的な深い知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 ・教職に関する専門的な知識・技能 ・教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 <p>②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 ・日本国憲法に関する基本的な理解 ・心身の健康に関する基本的な理解と態度 ・人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 ・英語を用いて意思を疎通させる能力 ・情報リテラシーとプレゼンテーション能力 <p>③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 ・教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 ・教育実践を通じた子供理解と実践的指導力 ○教員に求められる人間性と社会性 ・教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ・教員としての社会性や対人関係能力 ・社会貢献への強い意欲 ・学び続ける姿勢 				
年次	授業科目	到達目標	教育目標 1：教育学部では、力量のある質の高い教員養成を主眼とする。	教育目標 2：教育学部では、課程専修分野ごとに専門的教育を行い、教職の専門性と学問・文化の専門性の両方を修得させる。	教育目標 3：卒業要件として教員免許の取得を必修とし、教員免許・資格の取得に必要な教育課程を編成する。
1	器械運動	器械運動の特性を理解し、器械運動に必要な基礎的な体力（筋力、柔軟性）の向上と、マット運動、とび箱運動、鉄棒運動の基本的な技を習得する。	◎	◎	○
1	陸上競技	陸上競技各種目の基礎的技術を習得するとともに、基礎的な指導法を身につけることができるようにする。	◎	◎	○
1	ダンス	創作ダンスと現代的なリズムのダンスを中心に、「踊る」「創る」「見る」活動を通して、ダンスの基礎的能力を習得する。次の各項目を学習の到達目標とする。1.創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、即興的に表現したり、簡単な作品を創作したりして踊ることができる。2.現代的なリズムのダンスでは、ロックやヒップホップのリズムをとらえて全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて踊ったりすることができる。3.良い動き（技能）のポイントを理解し、友達やグループの表現や動きを評価できる。	◎	◎	○
1	球技A	バスケットボールの基本技能、基本的戦略、戦術を習得する。指導者としてのバスケットボールの基礎知識を身につける。	◎	◎	○
1	シーズン・スポーツ(水泳・スキー)	水泳は、泳法を問わず、50mを泳げるようにする。スキーは、冬山と異次元の空間を体験する。そして、全員が中斜面程度は滑れるようになる。	◎	◎	○
1	体育原論	体育の根本的な意味を理解する。哲学的な思考方法を学びながら、論理的に考察することを理解する。	◎	◎	○
1	発育発達論	・小学校における特別活動に関する基礎理論を学ぶ	◎	◎	○
2	体づくり運動	1.「体づくり運動」の領域特性とその目的を理解することができる。2.「体づくり運動」で使用する教具や教材を理解することができる。3.「体づくり運動」における指導方法を身につけることができる。	◎	◎	○
2	球技B	体育授業においてバレーボールを指導する際に必要な基本的な知識と技能を身につける。バレーボールの基本的ルールの理解、基本的技能の獲得、指導上の要点の理解を目標とする。	◎	◎	○

2	球技C	球技のサッカーに関する本質を深く理解するために、実技実践を通じて自らの技能と戦術理解力を高めていく。その中で、自分と他者の心身の特徴を感じ取り、各々の身体的、精神的な違いを受け入れ、グループとして攻守に渡りチームの勝利に貢献できる認知力、判断力、決断力、実行力を獲得し、サッカー競技を仲間と楽しむ力を磨く。	◎	◎	○
2	武道	学校体育の柔道指導法及び武道としての柔道の指導法を実践し学ぶ。中学校及び高等学校の技能である基本動作、対人的技能の投げ技、固め技、練習法、試合の仕方と審判法を習得する。さらに、高等学校で指導される技や安全指導のあり方と評価のあり方について学習する。	◎	◎	○
2	体育心理学	体育授業やスポーツの指導においては、学習者が運動を学習するしくみに基づいて指導する必要がある。そこで本講義では、以下の3点を学習目標とする。1・人間が運動をコントロール(制御)するしくみについて理解する、2・学習者が運動を学習するしくみについて理解する、3・効果的な運動の指導法に関する心理学的知見を理解する。	◎	◎	○
2	運動学(運動方法学を含む。)	以下の各項目を学習の目標とする。 1) 体育の授業やスポーツの指導に役立つ実践的な知識を身につけることができる。2) 自然科学的な運動理論との違いを理解することができる。3) 指導実践における運動学的知見の重要性を理解することができる。	◎	◎	○
2	運動学実験	運動のメカニズムを理解するとともに、動作分析の基本となることから実験・実習によって習得する。	◎	◎	○
2	学校保健(学校安全・救急処置・小児保健・精神保健を含む。)	保健体育の教員を養成する観点から、小児の発育発達、児童生徒の健康の維持増進のための保健管理及び安全管理、保健教育、安全教育の基本を理解する。また、児童生徒の健康課題と救急処置など緊急時対応について基本的な知識を獲得する。	◎	◎	○
2	生理学(運動生理学を含む。)	教育現場で実際に使える解剖学、生理学の知識を身につけることを到達目標とする。	◎	◎	○
3	身体・スポーツ文化論	次の各項目を学習の到達目標とする。 1・スポーツのローカル性、歴史性、構造を理解し、また、人間の身体との関わりを論じることができるようにする。 2・舞踊文化の歴史を理解し、舞踊とは何か、舞踊する身体とは何かについて、自分の言葉で論じることができるようにする。	◎	◎	○
3	体育学演習	複合領域である体育学各領域の専門的知識を深める。	◎	◎	○
3	体育心理学実験	人間の「運動発達」、「運動制御」及び「運動学習」に関する各種の実験の遂行を通して、以下の3点を理解することを目標とする。1・実験や調査そのもの手順と基本的な考え方、2・実験及び調査データの記述と分析方法、3・科学の論理と思考法	◎	◎	○
3	体育測定評価論	体育・スポーツ科学分野における測定評価の方法に関する知識と技能を身につける。特に、統計学的なデータの分析と解釈の方法、及び体力と運動強度の測定について理解する。	◎	◎	○
3	体育社会学	社会に役立つ、教師およびスポーツ指導者として身につけておくべき資質の修得を目指す。	◎	◎	○
3	衛生学(公衆衛生学を含む。)	衛生学は主として人間を取り巻く自然的、社会的環境要因との関連を科学的に明らかにし、疾病の予防や早期発見、健康の維持増進などに役立てようとするものであるが、個人の健康と集団の健康とは切り離せるものではない。そこで、衛生学の成果を根拠として国や地域の住民の健康を実現するための見通しを確立し、対策を立て、実行するにはどうしたらよいかについて扱う分野が公衆衛生学である。さらに、こうした講義を通して、自分自身の健康や周囲の人々の健康、社会の健康について具体的に考えられるような力を身につけることを目指す。	◎	◎	○
3	運動方法実践研究A	この授業では、表現運動・ダンスの特性と指導法について実践的に学ぶことを目的とする。 次の各項目を学習の到達目標とする。 1) 表現運動系・ダンス領域の特性を理解することができるようにする。 2) 表現運動系・ダンス領域の指導法を理解することができるようにする。 3) 表現運動系・ダンス領域の指導力を身につけることができるようにする。	◎	◎	○

3	運動方法実践研究B	<p>スポーツにおける思考を理解することにより、「するスポーツ」だけでなく、「みるスポーツ」において思考を楽しむ人間力の獲得を目指す。中でも、本講義の特色となる囲碁の実践を通して、運動神経の発達が悪く人々でも、思考を伴って行うマインドスポーツを生涯にわたって親しみ、仲間と戦略立案から目的達成に向けた思考を楽しむことができることを目標とする。また、視覚障害者スポーツの実践を通して、固有受容感覚の現状と課題を知り、感じ考え教えられる力の獲得を目指す。</p>	◎	◎	○
3	スポーツ医科学論	<p>保健体育の教員を目指すものとして、健康や発育発達に対するスポーツ活動・運動の意義を適切に指導し、スポーツ活動に伴う健康障害やスポーツ障害などの発生を未然に防止するとともに、その発生時には適切に対処することによって、有意義なスポーツ活動の指導を行うための知識を獲得する。また、健康の保持増進における運動習慣形成の意義を、医学的、生理学的知識とともに理解し、運動習慣形成を推進する際の科学的根拠として自己のものとする。</p>	◎	◎	○
4	論文	<p>体育学各領域に関する専門知識と研究方法に基づき、テーマを設定して研究論文をまとめることができる。</p>	◎	◎	○